

事務事業評価表

平成24年度【23年度事後評価】

会計名称	一般会計				
事務事業名	細々目02 戦没者追悼式開催事業				
予算区分	款	03	民生費	所属	福祉総務課
	項	01	社会福祉費		
	目	01	社会福祉総務費	連絡先	0594-24-1168
	細目	002	遺族対策経費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	⇔ 下欄の対象指標	付記事項
遺族会、一般・来賓参列者		
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇔ 下欄の活動指標	
○無宗教献花方式で年1回追悼式を開催する。 ・戦争で亡くなられた方の遺族及び来賓の方に追悼式の案内状を発送する。 ・広報に掲載し一般参列者を募る。		
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	⇔ 下欄の成果指標	
戦没者追悼式に参列して、戦争で亡くなった多くの犠牲者に対する哀悼の意を表す。戦争を知らない市民への啓発を図る。		

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度当初	
対象指標	遺族参列対象者数	人	1,060	1,060	1,060	1,060	
活動指標	開催回数	回	1	1	1	1	
成果指標	遺族参列数	人	目標値 200	200	200	200	
			実績値 195	192	222		
		目標値					
		実績値					
投入コスト	事業費計			739	722	702	741
	財源内訳	国支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		739	722	702	741
	所要人員(正職員・嘱託)		人工	0.48	0.46	0.35	
	トータルコスト		千円	4,309	4,080	3,287	
単位当たりコスト		円	22,097	21,250	14,806		
単位当たりコストの考え方		参列者一人あたりの事業コスト					

進捗評価

(事務事業の成果とその向上余地について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- 計画どおり
- 概ね計画どおり
- 停滞

成果を向上させる余地はあるか。

- ある
- あまりない
- ない

コストを抑えたが、前年度とほぼ同じ効果を得られた。